

平成26年度 新潟市立図書館指標別評価シート

全市立図書館

区分	評価指標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度比	図書館運営全体					
図書館運営	基本的サービス(地区図書室分を含む)					自己評価			外部評価		
	資料購入費:決算数値(千円)	206,457	159,403	165,171	3.6%増	1 大変評価する。0%			・図書館利用を促すための各学校を通じた公共図書館の貸出カード作成を呼びかけたのは効果があった。 ・カードを作ってもらうことも大事だが、図書館の楽しい使い方を教えて来館してもらうことが先なのではないか。 ・小・中学生への働きかけを一層努力してほしい。 ・グラフを見る限りあまり大きな変化はない。 ・利用者のニーズに応え、利用拡大を図る企画で様々な年代に働きかけている。		
	蔵書冊数(点)	1,842,478	1,830,532	1,858,821	1.5%増	2 ある程度評価する。100%					
	貸出冊数(点)	4,723,162	4,599,711	4,579,026	0.4%減	3 評価できない。0%					
	登録者数(人)	155,642	158,956	153,527	3.4%減						
(内新規登録者数)	17,666	19,666	19,181	2.5%減							
						・坂井輪図書館が改修のため1月～8月19日休館、新津図書館が移転のため6月1日～7月20日休館、石山図書館が耐震工事のため11月～3月25日まで事務室窓口で予約受け渡しだけの業務に限定されたなどの理由で、開館日数合計の前年度比較で145日減となり、その影響として貸出冊数が減少したと考えられる。 ・小・中学校の児童・生徒の図書館利用を促すため、各学校を通して公共図書館の貸出カード作成(利用登録)を呼びかけ、1,520人が登録した。 ・豊栄・白根・西川図書館が、システム統合後の更新時期となったため、登録者数が大幅に減少したことが影響し全体で5千人減少した。また新規登録者数は、亀田図書館が対前年度比で58%減少したため全体で減少した。					
区分	評価指標	平成24年度	平成25年度	H26目標値	理由	平成26年度	評点	評価(次年度への展開)			
施策・事業(オンライン各館)	課題解決型図書館					自己評価			外部評価		
	レファレンス件数(件)	8,506	12,649	12,650	前年度並	10,273	2	1 大変評価する。22%			・個人の予約件数目標を達成したが昨年に比べると横ばいなのが残念である。 ・予約のオンライン利用は忙しい人にとってとても便利で喜ばれている。 ・レファレンスは、知識欲だけでなく、生活の安心、快適へも繋がり図書館の役割は大きい。
	個人予約件数(件)	675,543	682,593	563,000	教育ビジョン	683,725	4	2 ある程度評価する。78%			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	中央図書館の数値					4	4 ※ビジネス支援サービスは中央図書館シートをご覧ください。			
	ホームページアクセス件数(件)	中央図書館の数値					4	4 ※ホームページアクセス件数は、中央図書館シートをご覧ください。			
	分権型図書館					自己評価			外部評価		
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	101,480	105,711	105,800	前年度並	108,583	4	1 大変評価する。56%			・各区の郷土資料の収集に期待する。 ・郷土資料発掘、保存、紹介は今後もがんばってほしい。 ・地域資料の収集は、館で差があるように思う。 ・各区の特色を活かした収集が重点となっていることは評価できる。その特色を来館者に示す工夫が必要である。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	38,192	39,325	39,400	前年度並	40,109	4	2 ある程度評価する。44%			
	学・社・民融合型図書館					自己評価			外部評価		
	児童書の貸出冊数(冊)	1,099,169	1,046,422	1,220,000	教育ビジョン	1,051,208	2	1 大変評価する。22%			・子ども・親子対象の事業の参加者が増えていることに期待が持てる。 ・小・中学生への働きかけを一層努力してほしい。 ・子どもに関する取組みが全館とも熱心である。 ・児童への様々な取組みが今日に結び付いている。 ・休館があったことだけが原因ととらえてしまうとよい訳ではないか。子どもの数に対して貸出状況を現状より良くすることを考えてほしい。 ・貸出冊数の減は、休館のためやむを得ない。
	小中学生への貸出冊数(冊)	499,785	472,109	531,000	教育ビジョン	409,759	2	2 ある程度評価する。78%			
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	14,665	16,605	20,900	教育ビジョン	18,151	2	3 評価できない。0%			
	職場体験受入人数(人)	205	213	213	前年度並	259	4				
	講師等としての派遣職員数(人)	344	392	392	前年度並	216	1				
	パートナーシップ型図書館					自己評価			外部評価		
図書館事業のボランティア活動者数(延人数)	3,996	3,904	3,904	前年度並	3,474	2	1 大変評価する。13%			・ボランティア活動者数が減少しているが、歯止めをかけられないか。 ・新しいボランティアが加入する事業を実施してほしい。 ・ボランティアや友の会の増加を目指して頑張ってもらいたい。 ・地域により対象の重点を変える必要もあるのではないか。 ・図書館毎でボランティア交流会が開催できないか。	
ボランティア団体交流会参加者数(人)	76	91	91	前年度並	89	2	2 ある程度評価する。87%				
利用者懇談会の開催回数(回)	0	3	4	対前年度増	4	3	3 評価できない。0%				
共催事業の実施回数(回)	73	67	73	組織目標	78	4					
運営(職員)					自己評価			外部評価			
研修参加職員数(延人数)	537	578	570	組織目標	642	4	1 大変評価する。78%			・職員の積極的な研修参加で、上回ったことは嬉しい。評価できる。 ・職員のレベルアップを願っている。全体的に窓口で笑顔がもっとほしい。	
						2	2 ある程度評価する。22%				
						3	3 評価できない。0%				

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針、新・総合計画:市の目指す都市像に向けた行政計画、組織目標:市が実施している組織ごとの行政評価